

優秀賞 本村小学校

<ビオトープ>

定期的な整備に加えて、環境新聞の作成・掲示やビオトープの生き物や植物に関するクイズイベントを実施しました。環境新聞で活動の様子だけでなく、生き物や植物の変化を伝えたり、クイズを各階の掲示板に掲示することで、学年を問わずビオトープに興味を持ってもらえるよう工夫しました。その結果、休み時間にはビオトープの観察に訪れる児童で賑わい、環境委員会の児童が低学年の児童に助言するなど異学年交流も見られました。

児童の率先した広報活動により、ビオトープにおける活動の輪が広がることで、新たな生き物の発生・発見につながり、それがまた児童の興味関心を広げていくというサイクルを生んでいる点が高く評価できます。

<3R>

コンポストの活動を継続し、給食を作る際に出る野菜くずを1日あたりバケツ4杯分を削減しました。また、作成した肥料をビオトープに撒き、草花の栄養とするというビオトープと3Rを連携させた取組を展開することで、児童がより熱心に環境活動へ取り組むことにつながりました。

また、給食の残菜量の削減に向けた取組では、音楽会の演目とコラボした給食や児童が考案したおにぎりアクションメニュー、企業による牛乳に関するキャリア教育を行いました。このように、斬新な着眼点によるアイデアや企業と連携しながら、児童が楽しみながら前向きに取り組める活動を展開し、成果を出している点が高く評価できます。



ビオトープクイズ



野菜くずを利用した
肥料づくり